

序

本年(1996年)、愛知大学は創立50周年を迎えた。なんであれ組織が存続し続けることは、その組織に属する人間にとってはめでたいことであるとするのが、世の習いである。愛知大学経済学部の関係者によって構成されている本学会が大学創立50周年の記念として紀要記念号の発刊を企てたのも、そのためである。

大学が安定的に存立し、構成員に良き研究・教育条件を提供し続けられれば、そこから良き研究業績が生まれてくる可能性は高まる。その結果はおのずから紀要にも反映されることになるであろう。もちろん、逆もまた真である。周年記念号のごときものに、たんなる内輪のセレモニーを超える意義があるとなれば、それがその組織の「現在」をかすかにでも映し出すということであろう。

いうまでもなく、本号の各論攷はこのような「周年記念号の意義」とは無関係に、執筆者の学問研究上の関心によって作成されたのであり、学問研究上の達成として評価されるべきであることはいうまでもない。その集合が結果として本大学・本学部の現在を映し出すということである。

なにはともあれ、いまは無事に本記念号が発行されるに至ったことについて、寄稿者各位と編集者各位の熱意と努力に敬意と感謝を捧げる次第である。

1996年11月15日

経済学部長 田中良明